

響

CONTENTS

響インタビュー	2~3
天下一光つつよる人	4~5
男性の育児休業制度	6
読んでみませんか？	
のべおか男女共同参画会議21	7
講演会開催・響さん紹介	8



延岡市長
三浦 久知
Hisatomo Miura

第29代延岡市長に
就任した三浦市長に
話をうかがいました。

Q 市長になろうと思った理由はなんですか？

A 宮崎県の職員時代から延岡市で消防団、延岡発祥チキン南蛮党、島野浦などで、さまざまな活動をし、市民の方々と触れ合う中で、多くの方の声を聞かせていただきました。その経験の中で、市役所に対する皆さんからの期待の声が多い一方で、不満や不安の声もあり、自分が延岡市に何らかの形で恩返しをしたいという気持ちが芽生えました。大学院時代に地方自治や市町村の政策について学んできたことも影響していますが、いつか延岡のリーダーとして市を良くしたいという思いが強くなったことが、市長を目指す決意につながりました。

Q 市長になってからの抱負を教えてください。

A 今回の選挙では僅差での勝利でした。三つ巴の戦いでしたので、得票数でいうと半数には届いていないため、多数の市民の方から支持をいただいたところではないと思っています。だからこそ、市政運営には市民の皆さんや関係団体・市議会との対話が必要であり、そうした対話を大切にしながら市政を進めていきたいと思っています。

これからの「延岡」というところでは、私には中学1年生の長女と小学5年生の長男がいますので、彼らが「延岡に生まれてよかった」「延岡で勉強できてよかった」とかそんなふうに思ってもらいたいと思います。それは子どもたちだけでなく、ご高齢の方も含めた全世代の方に思ってもらいたいと思います。

Q 市民の方とどんなふうに対話を深めていくのですか？

A 前市政では「移動市役所」や「出前市長室」といった形で、市長がさまざまな場所に出向く取り組みがありました。これを引き続き行っていきたいと思っています。移動市役所は平日夜の開催でしたが、子育て世代には参加しづらい時間帯かと思うので、たとえば休日の日中に行うなど参加しづらかった方々にも来ていただけるような機会をつくっていききたいと考えています。

さらに、小学生を市長室や議場に招くような企画も実施するなど、私も子育て世代なので、同じ目線で色々な方と出会える工夫をしていきたいと思っています。



Q 魅力ある街づくりについて教えてください。

A まず、夜景百選に選ばれた愛宕山ですが、現在はゆっくり過ごせる空間になっていないと感じています。カフェなどを誘致することで、市民の憩いの場となり観光誘致にも繋げられればと思っています。

島野浦については、観光戦略課に在籍していた時に担当となり、民泊をされている方や漁師をされている方などとお会いし、島をどうにかしたい、彼らと島を盛り上げたいという思いが強くなりました。異動後もプライベートで通い続け、昨年にはNPOを設立しました。今後も島の方々と共感しながら、島を盛り上げていければ良いと思っています。

島野浦だけでなく、祭りの実行委員会やマルシェをされている方など、市内には元気に活動している方がたくさんいらっしゃることを市民の皆さんに知ってもらいたいです。以前、SNSで島野浦の活動を発信したところ、名古屋の大学生から「卒論の研究に島野浦に行きたい」と連絡もらったことがあります。そういった「動いている地域だ」ということを発信することが大事かなと思います。



(島野浦神社秋季大祭に参加)

Q こども未来部の構想について教えてください。

A 延岡市役所の健康福祉部は、子ども関係、高齢者関係、障がい者関係が一緒になっていますが、子ども関係を切り離して一つの部にしたいと考えています。支援が必要な子どもたちに対して、より充実した支援を行うため、アウトリーチ型の支援や福祉部門の職員と教育委員会のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携を密にする必要があるのではないかと思います。教育委員会との連携をしっかりと検討し、丁寧な施策を進めていける組織づくりをめざします。

Q 男女共同参画についてどのように考えていますか？

A 以前同じ部署だった地元の延岡に戻ってきた若い女性の話ですが、「都会では好きなように生きられる」と話していました。その話から、一人ひとりが生きたいように生きられる地域にしていかなければならないと感じています。

先日、INOBECH協同組合(旧延岡鉄工団地協同組合)の工場見学に伺ったのですが、職員約60人のうち30人弱が女性だそうです。以前は男性だけの職場だったそうですが、今では男女の隔たりなく働いているそうです。作業工程を細分化したり、空調を入れたり職場環境を整えることで、離職率も減ったそうです。事業所単位での意識づくりはもちろん、地域全体としても男女共同参画への意識を醸成していくことが大切だと考えています。





子どもの“学び”を ささえたい

特定非営利活動法人 陽の環
理事長

小泉明子 さん

天下一 光っちょる人

歌でつながる 仲間たち

女声コーラス「コール・ベル」「SAKURA」指揮者
男声コーラス「22boys」指導者
宮崎県お母さんコーラス副会長

佐藤直子 さん



延岡市北浦町にある「学び舎ヒノワ（陽の環）」は、豊かな自然の中で生き方、暮らし方を学ぶ場で、自然の中で丁寧に暮らそうとすることで、知恵や技術を身につけ、自分らしさを発揮できる心と体を育むことを目指しています。理事長の小泉明子さんに、活動の思いや今後の展望について伺いました。

🌈「虹のつばさ賞」受賞の喜び

延岡ロータリークラブ創立70周年を記念して制定され、子どもの安心・安全に寄与する活動を行う個人、団体を表彰する賞。

「不登校という、普段は注目されにくい課題に光を当てていただけたことが嬉しかったです。受賞を通じて、学校以外の学びを必要としている子どもたちや、同じ志をもつ仲間の存在を知ってもらえたことが何よりの喜びです。」

🏠 設立のきっかけは「子どもたちの居場所づくり」

令和2年、神戸から延岡へ移住した小泉さん。元教員であり、自身の子どもも不登校を経験したことから、地域の現状に強く心を動かされたといいます。

「延岡にも不登校の子が多いことを知りましたが、彼らが安心して過ごせる場所がなかったんです。だったら私が始めようと決意しました。」令和3年に活動を開始。自然に囲まれた北浦町の環境に惹かれ、現在の拠点を構えました。

🌿「ヒノワ」の名前に込めた思い

「ヒノワは造語で、“ヒ”は始まり、“ノ”はゆっくり、“ワ”は輪＝つながりを意味します。漢字は好きな文字太陽の「陽」と、平面ではなくわっかの意味を持つ「環」を当てました。」



宮崎県延岡市北浦町にあるオルタナティブスクール。
海・山と大自然に囲まれたロケーションで、自分らしく、生きる力を育みます。



〒889-0301 宮崎県延岡市北浦町古江463-2
TEL 080-4015-8366

ホームページ



Instagram



♥ 活動の原動力は「楽しさ」と「変化」

現在、約20人の子どもさんと関わっていて、定期的に通う子、家庭訪問で支援する子、保護者とのやりとりを通じて関わるケースもあるそうですが、ヒノワを利用した子どもたちは、ほぼ全員が学校に戻っているそうです。

「最初は車から降りられなかった子が、少しずつ笑顔を見せてくれるようになる、その変化が何より嬉しいです。不登校は、経験しないとわからない部分が多いです。孤立や自己否定に陥りやすいからこそ、早めのサポートが大切だと思っています。」

🌱 子どもたちに伝えたい「生きる力」

「自分で考えてチャレンジし、自分の道を切り拓く力を身につけてほしい。時代の変化が激しく、大人が進む道を示せない時代になっていると感じています。道を見つけるまでには時間がかかると思いますが、待ちながら力になれることがあれば手助けしつつ見守りたいと思います。」

🚩 今後の目標は「暮らしの中の学び」

「ヒノワは、暮らしの中から学べる場であるべきだと思っています。米作りや大工仕事など、いろんな仕事をしている大人の姿を見て、子どもたちが興味を持ち、学んでいく。お年寄りや赤ちゃん連れのお母さんも気軽に立ち寄れる、そんな場をつくりたいです。」



女声コーラス「コール・ベル」を立ち上げた きっかけは？

延岡高校22回卒の同窓会で、有志が集まってコーラスを披露しました。その後、「せっかくだから続けよう！」という声があがり、同級生で練習を始めまし



た。最初は数人でしたが、今では27人の団員にピアノリストと私を加えた29人で活動しています。

その後、同じ同級生を中心に「22boys」という男声グループも立ち上げました。現在は男性7名・女性4名が在籍しています。

コール・ベルはコーラスの経験のない人ばかりが集まって活動を開始しましたが、同級生の大神のりえさんのつながりでインドへ演奏旅行に行ったり、「楡の会」や「県北合唱祭」に参加したりと、活動の幅を広げていき、現在は、お母さんコーラス連盟にも加入し、九州大会にも出場するようになりました。去年は設立20周年記念コンサートを野口遵記念館で開催しました。

指導者としてのスタートはどんなきっかけ でしたか？

高城町に住んでいた頃、公民館でコーラスの伴奏をしていたんです。ある日、指導者の方が辞めることになり、「代わりにお願いできない？」と声をかけられて、指導を始めました。

その団は、現在「コール・SAKURA」として都城で活動していて、今も指導を続けています。今年の10月に20周年コンサートを開催しました。

コーラスの魅力って、どんなところですか？

コーラスの魅力は、ハーモニーがぴったり合ったときの心地よさとみんなでバランスを取りながら助け合い、ひとつの目標に向かって力を合わせて進んでいくことだと思います。自然と団員同士の絆も深まります。それに、歌うことは深い呼吸をする有酸素運動でもあり、口周りの筋肉や滑舌、表情筋も鍛えられるんですよ。

これからの夢を教えてください。

自分自身も成長しながら、若い団員のみなさんを育てていきたいです。

そして、「年を重ねても気楽に歌って、歌でつながる仲間と一緒に過ごす」そんな未来が私の夢です。



♪ 女声コーラス コール・ベル ♪

練習日時 毎週火曜日 19時30分～21時30分

練習場所 一ヶ岡コミュニティセンター

団員を随時募集しています。初心者大歓迎です。
興味のある方は是非、お越しください。

知っていますか？

男性の育児休業制度

育児休業とは子どもを養育する義務のある労働者が法律に基づいて取得できる休業のことです。令和4年に産後パパ育休が創設され、育児休業を取得しやすくなりました。

男性が育休を取得することは、育児や家事を夫婦で共に担うことで、家庭はもちろん会社にも、パパ自身にもメリットがあります。



育児休業制度とは？

	産後パパ育休 (出生時育児休業制度) ※育児休業とは別に取得可能	育児休業制度
対象期間 取得可能日数	子の出生後8週間以内に4週間まで	原則子が1歳（最長2歳まで）
申出期限	原則休業の2週間前まで	原則1ヶ月前まで
分割取得	分割して2回取得可能	分割して2回取得可能
休業中の就業	労使協定を締結している場合に限り、労働者が合意した範囲で休業中に就業することが可能	原則就業不可

両親ともに育児休業を取得した場合は、原則子が1歳までの育児休業可能期間が1歳2ヶ月に達するまでに延長されます。（パパ・ママ育休プラス）

※育児・介護休業法について詳しくは
厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生労働省HP→



宮崎県には男性の育児休業を進める企業等への「奨励金制度」があります！

宮崎県では男性の育児休業取得を進める企業等を応援するため、通算4週間以上の育休を取得した男性従業員がいる中小企業等を対象に、年間最大100万円の奨励金を支給する制度を昨年度スタートしました。昨年度は、県内で42者がこの制度を利用しました。詳しくは、県のホームページをご覧ください。

奨励金HP→



【申請・問合わせ先】宮崎県福祉保健部こども政策局こども政策課 電話 0985-44-2602

女性活躍PR動画 延岡の光っちょる女性

延岡市では、職場や地域等で活躍する女性を紹介するPR動画を制作しています。動画投稿サイトYouTubeで公開していますので、是非ご視聴ください。



好評配信中

読んでみませんか？



「やなせたかしの生涯」～アンパンマンとぼく～

NHKの朝ドラ「あんぱん」でも話題のやなせたかしさんの生涯が、梯久美子さんの温かな視点で丁寧に描かれています。戦前、高知県で育ち、戦時中のつらい記憶を胸に抱えながらも、戦後は広告漫画家としての道を歩み始めました。この本には幼少期から広告漫画家としての下積み時代、そしてアンパンマン誕生に至るまでが書かれています。

知られざるエピソードや創作の裏話は、これまで語られることのなかった素顔を浮かび上がらせてくれるでしょう。

アンパンマンに込められたメッセージ、それは、困った人を見過ごさない優しさと、どんなときも希望を失わない強さです。やなせさんが戦争体験を通して身につけた人間愛が、ひとつの絵本キャラクターを超えて多くの人々の心に届き続ける理由が、この本を読むことで明らかになります。

日常の忙しさの中でも、家族の笑顔を思い浮かべながらページをめくるだけで、やなせさんが紡いだ言葉と絵が優しく心に染み渡ります。自分自身を振り返りながら、もう一度“人を思いやる心”を取り戻したいすべての方におすすめしたい一冊です。

やなせたかしさんについては朝ドラだけでなく、小学校の教科書にも出てきます。この他にも、「ボクと正義と、アンパンマン」「勇気の花がひらくとき」「やなせたかし おとうとものがたり」などたくさん本が出版されています（小学校の図書館にもあると思います）ぜひお子さんと一緒に読んでみませんか？



消費の決定権を活かして世の中を変えよう

のべおか男女共同参画会議21 会長 土井 裕子

世界経済フォーラムが発表した今年のジェンダーギャップ指数は、148カ国中118位で毎年ほぼこのくらいの位置で定着しています。海外の人からは日本女性は教育レベルも高いのに、なぜデモ行進をしないのだとされています。しかし、世界の女性の中で、ほぼ全ての消費の決定権を持っているのは日本女性だけです。衣食住はずいぶん前から女性が決定権を持っていましたが、最近では車や保険、旅の決定権も女性が握っています。

消費の決定権は、世の中を変える力があり、かつて琵琶湖周辺に住む女性達が、琵琶湖を汚している犯人探しをしていたところ、それは家庭からの雑排水が原因で自分達が犯人だったことを知りま

した。リンの入った洗剤を使うのを止めたら日本中の洗剤からリンが消えてしまったという事例があります。

ただ、金融については、まだ女性は弱いと感じています。たとえば、女性役員が2人以上いる会社の株を買うという運動を起こせば、上場企業の女性役員を増やせるかもしれない。物を買う行動を、上手く使って、世の中を変えられたらと思います。

「のべおか男女共同参画会議21」の新しい役員

会 長	土 井 裕 子
副 会 長	牧 野 早 苗
副 会 長	佐々木 健 二
事務局 長	河 内 カズ子
事務局 次 長	柳 田 憲 広
会 計	奴田原 君 枝
監 事	清 島 光 雄
監 事	夏 田 勝 子
顧 問	古 本 政 子



男女共同参画社会づくり 講演会を開催します!

演題 “ねばならない”から、さようなら!
～ 30カ国の台所で学んだ大切なこと～

講師 コウケンテツさん(料理研究家)

日時 令和8年3月7日(土) 13:30～15:00

会場 延岡総合文化センター 大ホール

テレビや雑誌で大活躍中の料理研究家、コウケンテツさんの講演会を開催します。夫婦の家事・育児分担(家事シェア)や食を通しての家族のコミュニケーションについて、楽しくお話しいたします。



※参加申し込みにつきましては、後日延岡市ホームページでご案内します。

響さん紹介

タイトル

「響」について

『響』には、「声・音が伝わる。」「声・音が跳ね返ってくる。」「広く知れ渡る。」「影響を与える。」「心に感じさせる。」等の意がある。この『響』が、あなたの心に響き、影響を与え、あなたからの情報が「打てば響く」ように跳ね返ってきてほしい。「あなたと響き合いたい」との気持ちでいっぱいです。

題字「響」

松田智愛さん

植野書道教室 延岡高校 1年

私が「響」という字のイメージで真っ先に浮かんだのがクラシックバレエの舞台の終盤、最高潮に盛り上がる場面でした。

小学生の頃からバレエを習っており、私がこれまでに舞台上から見た景色は幸福感に溢れていました。観客の満面の笑顔や拍手の中、バレエ音楽と演者の踊りがホール内に共鳴してホールに一体感が生まれた様子はまさに「響」。それを、私のもう一つの習い事である書道で表現する機会を今回頂き、とても嬉しいです。書(手書き)は、その人の個性や気持ちが滲み出るところが一番の魅力です。私の書いた「響」には、音や声だけでなく、人の温もりや人々が共通の何かで繋がり、関係性がどんどん広がり心に響き渡りますように…の気持ちを込めました。



写真「延岡流れ灌頂」

甲斐靖一さん

にしなカメラ

延岡流れ灌頂は毎年8月18日に延岡市仏教会主催で行われており、延岡市に江戸時代から伝わる夏の風物詩です。訪れた人たちは五ヶ瀬川にゆっくりと流れていく幻想的な灯籠に手を合わせ、亡くなった家族や先祖様の霊を見送ります。空には花火が打ち上げられ、川面を照らす灯籠と相まって宵闇を美しく彩ります。今年は久しぶりに撮影に行きました。

カメラとの出会いは中学生の時です。すでに社会人だった兄にねだって買ってもらいました。あの時の嬉しさやワクワク感は今でも忘れることはありません。撮る楽しみ、完成の喜び、見てもらって喜ばれる嬉しさ。あの頃の気持ちが今の仕事に結びついたのかもしれない。



◆延岡市男女共同参画センター

配偶者等からの暴力と男女共同参画に関する相談

☎ 0982-22-7056

◆延岡市消費生活センター

借金・消費生活に関する相談

消費生活に関する無料弁護士相談(要予約)

☎ 0982-26-0111

延岡市男女共同参画推進室

延岡市桜小路 360-2 (川中コミセン 2F)
月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始は休み)



悩んでいるのはあなたひとりではありません。勇気を出して一歩踏み出してみませんか? 相談は無料。秘密は守ります。お気軽にご相談ください。



編集後記



今回、初めて「響」の編集に参加しました。第36号「響」の編集にあたり、1998年の創刊号から読み直したのですが、これまで多くの方が「響」の編集に携わっていて、携わったみなさんの多くの想いが込められていると感じました。その「響」の編集に、自分が携わることができて、とてもうれしく思います。今回、取材させていただいたみなさんも、いろいろな想いを持って活動されており、その想いが「響」を通して、多くの方にお伝えできれば幸いです。取材等でご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

編集委員／ゆみ K、ひろこ B、ひろみ H、ゆみこ Y、あけみ N